

環境教育の現場に活かす -自然科学系ミュージアムでの 子どもワークショップ現状調査と人材育成-

〒546-0034
大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23
大阪市立自然史博物館内
電話:06-6697-6262
E-mail:yamashita@mus-nh.city.osaka.jp
http://www.omnh.net/npo/
(FB) <https://www.facebook.com/naturalhistory.center/>



ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発



研修会で発表者と参加者との質疑応答の様子

調査博物館数	10館
研修会参加数	46人
今年度計画の達成度	60%
活動の全体目標に対する達成度	30%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

事業の認知度を高めるのが難しかった。内容に関心を持つ方は多いのだが、その関心度を事業に継続的に巻き込むのが課題である。

■ 工夫した点

博物館の普及関係者のプラットフォーム「はくぶつかん子どもワークショップちょうさたい(通称:はこわっち)」を立ち上げた。

課題

自然に親しむ心を育む目的で、全国の博物館には子どもワークショップが盛んに開催されているが、その現場・手法に関する情報は極端に少なく、評価されていない現状がある。

目標

博物館で開催される「自然」をテーマにした子どもワークショップを調査し、その情報を広く公開し、環境教育の現場に還元する。

活動内容と成果

● 博物館子どもワークショップ調査

2017年は10施設(北海道・岩手・東京・千葉・山梨・岡山・福岡など)にヒアリング調査へ出掛けた。アンケート調査には7カ所(北海道・岩手・大阪)出掛け

た。WEB調査では226施設、565プログラム調査した。

● 調査委員会の立ち上げ
活動の計画を検討するために、年間14回のミーティング開催した。

● 研修会の開催
12/11に大阪市立自然史博物館にて、研修会を開催し、全国から46人の参加者が集まった。



同会での参加者同士の意見交換の様子

今後の展望

「はこわっち」をキーワードに活動の認知度を上げたい。博物館の調査とともに、調査内容を発信する活動にも力を入れていく。さらに博物館の普及関係者が直接情報共有できる研修会を、2018年度も開催予定である。